

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

月刊

同友

2 月号

2026
vol.715

P 03-06

特集 事業承継の勉強会

事業承継塾第4講と東支部・久留米支部例会報告

P 10-11

福岡県商工部と 福岡同友会との意見交換会

P 12-13

福友支部設立40周年記念式典 ともに来りて、福つなぐ

P 07-09 21世紀型自立型企业づくり

営業とは! ～良い会社を創るために～

アドバンストーヨー株式会社

代表取締役 木村 浩二郎 氏(北九州支部)



福岡県中小企業家同友会
月刊同友の
バックナンバー

MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE DOYU



福岡県中小企業家同友会

事業承継の勉強会

事業承継塾第4講と 東支部・久留米支部例会報告



同友会理念の実践には、会員企業の永続的発展が求められています。そのためにも事業承継は重要な課題であり、福岡同友会でも委員会や支部でさまざまな勉強会に取り組んでいます。同友会すばる委員会と2つの支部の取り組みをご紹介します。

1 勉強会1 事業承継塾第4講

テーマ 事業承継時のトラブル

主催 福岡同友会 同友すばる委員会
日時 2025年11月15日(土) 14:00~17:00

場所 電気ビル本館地下2階7号会議室
報告者 森 勇馬氏
(直方駅前法律事務所 代表者 のおがた支部)



森 勇馬氏

同友すばる委員会では、本年度の活動方針として「事業承継塾」と「同友文化塾」の分科会を設けました。今回取材班は「事業承継塾第4講」を訪問いたしました。体験報告を中心に事業承継計画の立て方を学び

ます。

今回の報告は、同じ会員である専門家によるアドバイス形式で行われ、事業承継時のトラブルチェック項目と専門家による提案項目(次頁に掲載)にもとづいて進行しました。

この後、グループ討議が行われました。企業の数だけ承継のカタチがあり、ケースバイケースで考えていかなければならないと感じ、提案の中にあるように専門家の力を借りることが重要だと感じました。

第5講は2月7日を予定しています。

レポート 菅原弘(東支部)



同友会 3つの目的

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。



アドバンストーヨー株式会社

代表取締役 ^{きむら こうじろう} 木村 浩二郎 氏 (北九州支部)



私が木村浩二郎さんをご紹介します！

株式会社上津役製作所
代表取締役

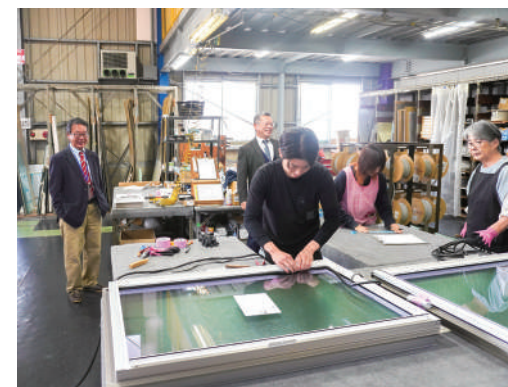
小林 正広
(ひびき支部)



木村さんは現在、北九州地区で今期から新設した経営者養成塾の塾長をはじめ、地域政策部・キャリア共育部と北九州地区の3つすべての推進部に参加し、北九州地区活性化の為に奔走してくれています。県では共同求人委員会の副委員長としても活躍し、自社を良くする、結果地域が良くなり、同友会が良くなるを実践する、成長を止めないとてもアクティブな経営者です。経営者としては社員から社長へと事業承継を

し、「良い会社を創ろう」を社是としたみなで作る良い会社作りにも日々研鑽を積んでいます。採用や共育にも積極的にかかわり特に社員教育への熱意はとても凄いです。同友会の社員研修や幹部研修には毎回多くの社員さんに参加させています。またインタビューシップの発表会にも毎回関わった社員さんと一緒に生徒の発表を聞きに来ます。温かい目で生徒を見守るその目はまるでお父さんの様です。

現場からひとこと



こちらの写真は本社横の倉庫で、サッシの出荷作業をしている様子です。実際にこのサッシを持たせていただきましたが、想像以上に重く驚きました(持てませんでした)。住宅で熱の出入りが多いのは窓ということで、強度を高く、断熱性能に優れたものに変えるお客様も多いそうです。こんなにしっかりした窓があると光熱費の削減だけでなく、災害時にも安心だなと思いました。

今回の取材では所属支部会員、建設業の他支部会員など多くのみなさまに参加いただきました!広報情報委員会では毎月第一水曜を定例日として取材しています。ご興味があれば事務局まで。

撮影・文/同友会事務局 長尾裕美

詳しくは7ページ「21世紀型自立型企业づくり」へ!

勉強会2 東支部例会

テーマ 次代につなぐ事業承継、選ばれる企業づくり

主催 福岡同友会 東支部

日時 2025年11月19日(水) 18:00~21:00

場所 福岡県中小企業振興センター401会議室

報告者 森 仁志氏

(和新工業(株) 代表取締役社長 東支部)



森 仁志氏

事業承継は、単に経営を引き継ぐことだけでなく、社員の雇用や地域の暮らしを守り経営資産を未来につなげていく役割を担っています。

報告者の森さんは先代社長(父親)から承継を打診され、考慮を重ねて受諾しました。

事業承継の実施には、取引先への告知、定款改

現在では、経営指針書の活用を通じてSDGsの取り組み、新製品開発、協力業者との信頼関係構築など次につながる新しい挑戦に取り組んでいます。早い段階から承継に向けて取り組み、「選ばれる企業」に向けて社員と共に取り組む報告でした。

レポート|| 菅原弘(東支部)

定、負の資産対策、株式の対応など多くの課題がありました。「事業承継計画表」を自社用にカスタマイズして取り組んでいました。

2019年に社長に就任して間もなくコロナ禍に見舞われましたが、そこで気づいた課題を具体的にに取り組んでいきました。

子連れ出勤OK、BCPの取り組み、経営指針書の見直しなどです。また、同友会の企業変革支援プログラムVer2を活用して社員と共に検討していき

勉強会3 久留米支部例会

テーマ 承継力が企業を強くする
未来へ挑む事業承継

主催 福岡同友会 久留米支部

日時 2025年11月28日(金) 18:30~20:30

場所 ハイネスホテル久留米

報告者 傳田 潤一氏

(福岡県事業承継・引継ぎ支援センター サブマネージャー)



傳田 潤一氏

今回の久留米支部の例会では、福岡県事業承継・引継ぎ支援センターの傳田氏より、「承継力が企業を強くする 未来へ挑む事業承継」というテーマで報告をいただき、中小企業経営者として、自社の10年後を想像しながら拝聴しました。

中小企業が直面する
現状と課題

現在、経営者の平均年齢は60.7歳に達し、7割近い企業において、70歳以上の経営者が現役です。驚くべきは、廃業する企業の約半数が黒字であるという事実です。

その理由の約3割が「後継者不在」であり、地域経済を支えてきた技術や顧客ネットワークが失われることは地域にとつての大きな損失です。事業承継は、経営者が人生をかけて育てた事業を次世代へつなぐ「最後の大事な仕事」であると再認識しました。

事業承継の本質と準備

承継すべきは「目に見える資産(人・物・金)」だけでなく、理念や技術、人脈といった「目に見えない経営資源(知的資産)」です。承継には親族、従業員



末竹 哲塾長



中野 正志委員長

事業承継時のトラブルのチェック項目

- ☒ ① 株主は誰ですか？
- ☒ ② 株主は真の出資者ですか？
- ☒ ③ 取締役会・株主総会は開くようにしていますか？
- ☒ ④ 残業代を払っていますか？
- ☒ ⑤ 定款に株式譲渡制限・売渡請求の定めがありますか？
- ☒ ⑥ 事業所・工場が経営者個人の所有か？
- ☒ ⑦ 会社と経営者の金銭の貸し借りはあるか？
- ☒ ⑧ 株式の相続人は複数か？
- ☒ ⑨ 承継者は株式の共有持ち分過半数を確保できるか？
- ☒ ⑩ 承継予定者に生前贈与したからと安心していないか？
- ☒ ⑪ 全ての遺産を相続させる遺言を書いて安心していないか？
- ☒ ⑫ 法定相続人に「相続権を放棄する」念書を書かせたらよい？
- ☒ ⑬ 公正証書遺言を書いたら安心
- ☒ ⑭ 遺言で銀行の借金を承継する人を決めてよい？
- ☒ ⑮ 承継候補者にまず決算書を渡す？
- ☒ ⑯ 買い手側弁護士・仲介業者に契約を任せてよいか？
- ☒ ⑰ 表明保証責任
- ☒ ⑱ 競業禁止義務



主に
社外への
引継ぎ

専門家としての提案

- ☒ ① 個人B/S・財産目録の作成
- ☒ ② 遺言(意思決定)
- ☒ ③ 債務超過の場合、早期の専門家相談
- ☒ ④ 弁護士の利用場面

3. 事業承継計画表

項目	1. 事業承継計画	2. 事業承継計画	3. 事業承継計画	4. 事業承継計画	5. 事業承継計画	6. 事業承継計画	7. 事業承継計画	8. 事業承継計画	9. 事業承継計画	10. 事業承継計画	11. 事業承継計画	12. 事業承継計画	13. 事業承継計画	14. 事業承継計画	15. 事業承継計画	16. 事業承継計画	17. 事業承継計画	18. 事業承継計画	19. 事業承継計画	20. 事業承継計画
1. 事業承継計画																				
2. 事業承継計画																				
3. 事業承継計画																				
4. 事業承継計画																				
5. 事業承継計画																				
6. 事業承継計画																				
7. 事業承継計画																				
8. 事業承継計画																				
9. 事業承継計画																				
10. 事業承継計画																				
11. 事業承継計画																				
12. 事業承継計画																				
13. 事業承継計画																				
14. 事業承継計画																				
15. 事業承継計画																				
16. 事業承継計画																				
17. 事業承継計画																				
18. 事業承継計画																				
19. 事業承継計画																				
20. 事業承継計画																				

事業承継計画表

営業とは！

「良い会社を創るために」

同友会の学びを活かした、
経営理念の浸透や事業承継についての報告です。



倉庫内の資材は
ほぼ1日で全てが出荷されます



アドバンストーヨー株式会社
代表取締役
木村 浩二郎 氏
北九州支部

取材＝広報情報委員会 文＝菅原弘(東支部) 写真＝長尾裕美(事務局)

員、第三者(M&A)の3つの形がありますが、いずれにせよ、成功の鍵は「パトタッチの日(ゴール)を決めること」にあるのとことです。準備には3年から10年という長い時間が必要であり、早めの着手が不可欠です。

承継を通じたイノベーション

一方で事業承継は単なる存続ではなく、成長の機会でもあります。デー

公的支援の活用

支援センターでは、専門家による「事業承継計画書」の策定支援を原則無料で行っており、10年先を見据えたロードマップを、現経営者と後継者が同じテーブルで対話し



ながら作成することで、相互の認識のズレをなくし、円滑な引き継ぎを可

タによれば、承継した企業は3年後あたりから成長率が上向く傾向にあります。現

早期の対話と準備が必要

続くグループ討論では、親族承継での「伴走期間」の確保や、自社をまず「継ぐ価値があり、継げる状態」に整える重要性が共有されました。技術承継への不安に対し、自身の経験を「計画書」に遺すことや、理念等の「見えない資産」を継ぐ難しさも語られ、早期の対話と準備の必要性を再認識する機会となった模様です。

「事業承継塾」にご参加を

経営者である以上は学び続けるために

同友すばる委員会 委員長 中野 正志

同友すばる委員会の分科会として「事業承継塾」があります。年間6回の講義を開催して、3回は会員の事業承継に関する体験報告があり、3回は会員専門家による税務、法律、保険についての事業承継に係る講義を実施しています。



中野 正志氏

同友すばる委員会は年齢60歳以上の会員を対象とした交流の場として誕生しましたが、経営者である以上学び続けることが必要として「事業承継塾」を開催し、事業承継計画を立てるための基礎的な知識の習得と、各社特有の課題解決のために先輩経営者の体験を聞き、相談をして自社の事業承継が計画通りなされる



ことを促しています。

また事業承継ネットワークとして「福岡県事業承継・引継ぎ支援センター」との連携を図り、会員が広く事業承継に関して相談できるように仕組みづくりをしています。是非ご相談ください。

営業職から社長に就任した木村浩二郎さん。まず取り組んだのが、土台づくりと言います。そして社員には10年ビジョンを語り、会社の未来像の共有を社員とともに図ります。

3社が統合して新生アドバンストーヨーがスタート

今回、取材班は北九州市八幡西区のアドバンストーヨー(株)を訪ねました。代表取締役の木村浩二郎さんは、物腰柔らかく誠実な印象で我々を温かく迎えていただきました。

この会社は住宅用サッシのトップメーカー・トステム(株)のFC店である北九州トリーヨー(株)、門司トリーヨー(株)、アクティトリーヨー(株)が2019年に合併した会社です。

同社は、主力商品のアルミサッシをはじめ、ドア・階段、そしてユニットバス・システムキッチン・洗

面台・トイレなどの水回り機器、さらにエクステリアなどの幅広い住宅資材の卸をしています。取引先は大工・工務店などの建築業者で、現在の業界を反映するように、その7割以上がリフォームに携わっていると言います。

木村さんの生い立ち

木村浩二郎さんは、1972年に下関市で木材の次男として生まれました。1994年に福岡大学を卒業して、トステム(株)に入社しました。入社以来営業職一筋でキャリアを重ねます。トステムは2011年INAX、新日軽、サンウェーブ工業、東洋エクステリアを統合し(株)INAX(リクシル)となりました。同社が合併した時に、メーカーから出向した管理職出身の社長が就任します。2016年、売上げの立て直しを見込まれ、木村さんが出向してきました。「社

長になる前にまず土台づくりから始めました」。

木村流土台づくり① 社内の意識改革

まず、社内の営業体制です。市場は90万人都市の北九州市内がターゲットとなります。従来から営業部は『新規開拓して来い』という号令で動いていました。木村さんは営業畑を歩んできて新規開拓の難しさを十



分に知っています。「これでは営業が委縮してしまふ」と考えた木村さんは、既存の顧客リストの洗い直しを図ります。大工・工務店などの建築業者ごとに、取扱い売上げ（年間棟数）、どのメーカー・卸業者を使っているのか、その理由と反対に同社を使わない理由などを分析していき、数値化・見える化に取り組みていきました。

さらに同社には施工班があり、同業他社にない強みであるため明確に訴えるようにしました。「お客様からの相談に対し決して断ることなく、何とかしようと考えるようにしています」。そして業者ごとにどのよう

にアップロードしていくかを営業担当と打ち合わせしていきました。取引先数のすそ野を広げ、売上げの安定化を図ります。月次ごとに進捗状況を確認していき

ました。一方、木村さん自身は新規開拓に努める背中で姿を示し、そこから社員からの信頼を得るようになりました。

木村流土台づくり② お客様の意識改革

同社が創業以来積み上げてきた圧倒的な商品知識や現場知識、優れた技術で構築した工法のノウハウを明確に示し、志を共にできる業者に対して徹底的に研修を開催していきました。

建築業にとって新しい工法に挑むということは大きな転換につながります。粘り強い説得を重ねました。賛同してくれる業者が増え、同時にスケールメリットも

生じて仕入れ値・販売価格が有利に展開していくようになりしました。こうして、売上額・利益額・利益率ともに上昇傾向になっていきました。

同友会で社長業を学ぶ

営業戦略については、前

述のとおり土台づくりを進めていきましたが、木村さん自身は社長業を学ぶ必要がありました。先代が同友会に入っており、社長を引き継がせたかった思いと取引先の現副代表理事の松本祥也さん（株松木工務店）の誘いで2019年に入会します。

「経営者の方と積極的にお話しました。そこでの学びが多く、情報や考え方を知ることができました。異業種交流会などを通じて情報収集し、会社で落とし込むことも、私の重要な仕事です」と木村さんは語りま

す。もともと、同友会で言うところの経営指針書（同社では経営方針と呼んでいま

す）は、以前より持ち合わせており、現在では、その方針の具体的実践に及んでいると言います。

経営方針の中で企業理念として『良い会社を創ろう』と掲げています。社長

に就任してからは、「良い会社」の定義を「家族や知人に自慢できる会社」としました。

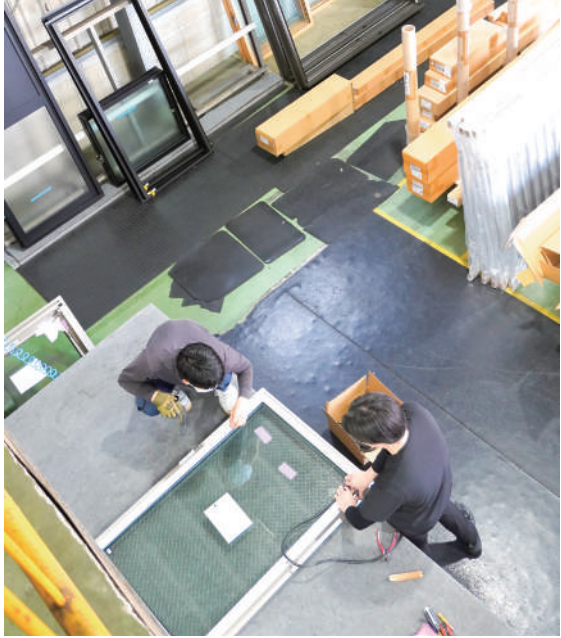
木村さんは社長に就任し、プレーヤーを離れマネージャーとして会社の方針や短期・中期（売上）計画、採用、評価制度、社員教育などに専念するようになりました。

ビジョンを示す

社内では半期ごとに決算を公開しています。従業員にわかりやすいように売上、そして利益、あとのくらいがんばれば決算賞与になるかという目線で説明し、モチベーションを高めていきます。

「現状維持は衰退と同じ。常に成長しなければなりません」。

10年後の姿として、ホールディング化することを掲げています。「グループで12社の会社をつくる」と謳っており、人口が減って



アルミサッシの
出荷準備

いく中で生き残りをかけて体制を作っていきます。社員には「12人の社長ができる会社になる」と宣言しています。

「責任感を持った社員（人間）を育てていくことが、私の仕事です。そのためにも魅力ある会社づくりを心がけていきます」と木村さんは語ります。

良い会社を目指して

企業理念を実現するためには、営業をはじめ全社一丸となって利益を上げてい

かなければなりません。社内体制を整え、ビジョンを示しました。さらに社員対象に満足度調査を行いました。主に、福利厚生に関しては、要望の多かった「ホークス年間シート購入」を実現し、好評を得たと言います。次に有給休暇の取得促進と社員教育が挙げられます。

今後の課題

幹部候補の育成をはじめ、社員教育に取り組んでいきます。役職を与えることでモチベーションの向上につなげるようにしています。

また社員構成を見ると若年層が少ないと分析しています。

福岡同友会で共同求人副委員長を務める木村さんは、地域の中小企業が、特に地元大学生を採用していないことに懸念を感じています。その理由を「マスコミなどの影響でしようが、初任給が非常に高くなっているこ

とが一因になっている」と言います。

木村さんは地元の大学とのパイプを作り授業で1コマを持ち、大学生に中小企業の魅力、就職指導、面接のシミュレーションなどを講義しています。「地元企業が地元の人材を採用できる環境づくりが大切だと思います」。

また配送体制に関しても、今後AIを導入してより円滑な物流に取り組む予定です。

営業とは！

木村さんにとって営業とは何かとお聞きしました。

「営業は、会社の中で利益を生み出す部署です。そのためには商品知識、現場意識、お客さまとのコミュニケーション力を高める必要があります。お客様の要望を超える商品・サービスを提供すれば、利益はついてくるものと考えます」。取材の最後に木村さんの

アドバンストーヨー株式会社

創業 1974年
住所 北九州市八幡西区則松5-12-33
電話 093-693-8800
社員数 38名(正社員33名、パート5名)
事業概要 アルミサッシ・エクステリア・バスルーム・キッチン・配水周り商品・室内建具・外装などの卸売

<https://www.lxil-madolier.jp/5000024/>



企業情報

木村さんのAction

- ①2016年、会社の売上立て直しを見込まれ、資材メーカーから出向。
- ②社内や取引先と数値や商品知識、ノウハウを共有し、営業戦略を鮮明化する。
- ③次期社長として2019年に同友会に入会。経営者としての考え方を学ぶ。
- ④10年先を社員と共有し、労働環境の改善と幹部養成に取り組む。





福岡県商工部と福岡同友会との意見交換会

価格決定権を持つ 自立型企业づくり支援

～部署横断による多角的な支援を目指して～

文・写真：安丸 雄介（事務局）



見雪 和之氏

開会挨拶では、見雪和之・商工部部長より、中小企業対策は「産業政策の一丁目一番地」と位置づけ、施策を広く周知し、経営者の「生の声」を直接聞き、政策に反映させる重要性が強調されました。

福岡同友会からは貞兼朋記・代表理事（南支部）より、同友会は3つの目的「よい会社・よい経営者・よい経営環境」を目指し、今回の懇談は良い経営環境づくりとして、経営者が正しく努力した分だけ報われる世の中の実現に向け、地域経済の活性化につながる意見交換を行いたいと話されました。

県内中小企業の 価格転嫁の課題で連携

はじめに県商工部が実施した「価格転嫁ヒアリング調査」の中間報告が、古主直哉・中小企業振興課課長より行

われました。本調査には、福岡同友会が県と初めての共同の取り組みとして、会員企業33社を対象に価格転嫁の現状について同友会事務局員が県職員と同行しヒアリング企業訪問（2025年7月31日～8月28日）に協力しました。結果の特徴には、強みを持つ製造業では価格転嫁が進む一方で、差別化しにくい汎用品を扱う企業やBtoC（対消費者）向け業種では、価格転嫁が困難な状況が浮き彫りになりました。

次いで、福岡同友会からは新内一秋・景況分析部長（南支部）より、第5回経営実態調査（2025年7～9月期）の結果報告を行いました。今期自社業況DI値はマイナス域に入り、経営上の問題点では「人件費の増加」「仕入価格の上昇」による利益圧迫と、「深刻な人手不足」などの現場の切実な声として報告されました。また、「同業者の価格競争」が3期連続で回答割合が上昇し、市場環境の悪化の兆しがあると報告されました。

部署横断的な懇談、 障がい者雇用の活動を意見交換

中小企業の経営課題は多岐にわたり、

しかしながら、県の優れた支援制度も、最も必要とする小規模事業者等に届いていない現状があります。AI等のデジタルの活用や、施策の窓口となる金融機関や商工団体と連携した情報発信の強化が必要ではないかと意見交換されました。

中小企業の未来を 明るく照らす施策を

最後に、井上明・地域づくり本部長より閉会挨拶がありました。「中小企業は、大企業にはない強みを生かす経営を追求しており、それは一人ひとりの社員の強みを引き出し、繁忙期等でもフレキシブルに動ける人材育成や、経営者が社員全員に目を配れる中小企業だからこそその従業員を主役にする組織づくりです。日々、不安を抱える中小企業経営者にとって、行政と直接対話できる機会は非常に心強く、安心感につながります。今後もこうした連携を深め、県の施策や広報を通じて、中小企業の未来を明るく照らしていただくことを期待しています」と締めくくりました。



西田 英司氏



牧本 貴宏氏



宿 政充氏

関係する県の部署は商工部だけに留まりません。今回の意見交換会は、県商工部の枠組みを超えて、成長産業・技術分野支援として株式会社久留米リサーチパークの藤田敏明・バイオ事業部長や、障がい者雇用を管轄する宿政充・労働局就業支援課の出席があり、部署横断的な懇談が実現しました。藤田氏からは、機能的表示食品の開

発支援など、中小企業が技術力で差別化を図るための具体的な窓口が示されました。宿氏からは県内の障がい者雇用の施策について活動紹介がありました。

同友会からはバリアフリー委員長の牧本貴宏委員長（博多支部）と西田英司副委員長（福岡支部）が参加されました。宿・労働局就業支援課との対話では、同友会は、障がい者個人だけに焦点を当てるのではなく、障がい者と



「価格転嫁」支援から 「価格決定権を持てる 企業づくり」支援へ

会合後半の意見交換では、中川甚広・政策金融部長（のおがた支部）より、「価格転嫁というより、付加価値を作り出し、価格決定権がある商品やサービスを作り出すことに対して支援をすると県が宣言して頂く方が、価格転嫁することより知事が目指している考え方に近づくのではないかと、単なるコスト上昇分の「価格転嫁」を求める段階から、一歩踏み込んだ「価格決定権を持つ自立型企业づくり」への支援が不可欠だと提起されました。

また、県と共通認識となった課題は「施策の周知」です。県は例年『福岡県施策活用ガイドブック』（現在PDF版のみ）を制作し、新たに経営課題別やキーワードで施策を検索できるWebサイトを立ち上げています。

これから福友支部30周年記念式典の映像が再映されたのち、新支部創造を成し遂げ、歴史を繋いできた歴代支部長、新支部創造PJリーダーのインタビュー動画が放映され、来期支部長予定者からの挨拶へと続き、福友支部の歴史とこれからに引き継いでいくべき福友イズムを再認識する時間となりました。

両支部会員及び来賓（他支部の皆様）計175名が参加した会場では、旧知の会員同士が再会し、初めての会員同士が自己紹介しあう光景が繰り広げられ、和やかな雰囲気の中で式典は閉幕となりました。

未来へ福をつないでいきたい

このたびの記念式典を通じて、同友会のみなさまとのつながりを実感するとともに、今後も、互いに切磋琢磨し、未来へ福をつないでいく存在でありたいとの願いを新たにしました。

ご参加いただいた皆さまに心からの感謝を申し上げ、今後の更なるご発展とご健勝を祈念いたします。



福友支部設立40周年記念式典

ともに来りて、福つなぐ

日時 2025年11月27日(木)
会場 グランドハイアット福岡3F ザ・グランドボールルーム

文・写真 牛島 智絵(福友愛支部)

福友愛支部、福友和支部は、2022年に誕生しましたが、両支部の母体は1985年に誕生した福友支部です。その福友支部の設立40周年を迎える今年、「設立40周年記念式典」を、両支部合同で開催しました。



記念講演に熱心に耳を傾ける参加者の皆さん



40周年宣言する廣田明彦福友愛支部長(左)と高尾英正福友和支部長(右)

夢と希望溢れる「40周年宣言」を高らかに

第一部では、愛支部の菅原真由美さん・志自岐祐人さんによる理念唱和、和支部の高橋康徳さんに



記念講演を行った中山英敬中同協幹事長(前列右)を囲んで

よる主催者挨拶、井上明さん(副代表理事)からの心温まる来賓祝辞に続いて、廣田明彦福友愛支部長、高尾英正福友和支部長による「40周年宣言」が行われました。

両支部長は同友会の歴史と理念に学び、福友支部が積み重ねてきた歴史を活かし、夢と希望に満ち溢れる生きた学びを共有できる両支部を作ることを高らかに誓いました。

記念講演で学んだ「同友会の原点」

続く中同協幹事長の中山英敬さん(南支部)による記念講演では、社員と真摯に向き合われた自社での経験を踏まえ、労使が一体となつてこそ会社は継続発展するという、心に響く力強いご報告を頂き、同友会の原点ともいべき学びの機会となりました。

歴代の思いを再認識した懇親会

第二部は愛支部・納富輝子相談役による乾杯の挨拶で幕を開けました。

2025年度 第8回 理事会議事録

理事会議事録の詳細はe.doyuの「文書管理」にある「理事会議事録」にてご覧ください。

開催日時 12月24日(水) 14時30分～17時18分
出席数 37名(出席率94.8%)

会場 福岡県中小企業振興センター401会議室
議長 入江 恵美

1 入退会審査

入会16名、退会6名(うち未収あり退会1名)、休会1名が承認され、12月承認会員数は2,416名となった。また移籍申請1名を確認した。

2 「全体構想」について

11月理事会での議論を受け、「活動と組織の見直し」「中～長期的な活動と組織の見直し」の具体的な取り組みと工程表が提案され、グループ討論を行った。

3 企業づくりより

● 経営指針の作成と実践数字把握
12月役員会終了時点で声掛け率48%、成文化率56%、実践率38%。目標である声掛け率50%、成文化率60%、実践率40%まで残りわずかとなった。期首から声掛け率が変わっていない支部もあるので、ぜひ声掛けしてもらい来月には目標達成したい。

● 企業変革支援プログラム Ver.2登録状況
現在e.doyu登録数140名。登録数は12月31日で一旦リセットされるため、残り数日ではあるが少しでも目標である250社へ近づけたい。特に理事で未登録の方はすぐに登録をお願いしたい。2025年に登録済の方も1月になったら再度登録をお願いする。

以上2点の報告があった。

4 研修本部より

● 役員研修大学の企画について
3月7日(土)の第30期役員研修大学について、委員長・副委員長も参加対象とする。参加対象者が増えたため各地区でのサテライト会場設置も可能とする。また、支部長研修企画内容について承認された。

5 総務財政室より

同友会理念の旗作成、パーフェクトマナーブック増刷のための予算執行、事務局複合機入札の実施が承認された。

6 経営者フォーラム実行委員会より

2026年度の経営者フォーラムについて、開催時期:10月第3週、開催場所:エルガーホール、規模:600名程度、予算:330万円とすることが承認された。各支部例会振替とすることは継続協議とする。

7 県役員選考委員会より

次期理事(支部長)及び県役員(委員長)について下記の通り提案された。

■ 支部長

東支部	森 仁志(新任)
西支部	石見 勇樹(新任)
福友愛支部	吉住 征一(新任)
福友和支部	王 愛(新任)
青年支部	内野 裕太(新任)

■ 定款に定めのない県役員

共同求人委員会	峯元 秀爾(新任)
企業連携推進委員会	船木 治(新任)

(現委員長辞退に伴う残余期間)

8 会員企業の動き

■ 経営革新計画承認企業

2025年11月(県9件/うち同友会会員企業0件)
※累計で福岡県全体では10,139件、会員企業は延べ592件です。

■ 報道記事など

- 2025年11月25日(火)西日本新聞
宮田織物(株)吉開 ひとみさん(福友和支部)
- 2025年12月5日(金)日刊工業新聞
(株)東洋硬化 小野 賢太郎さん(久留米支部)
- 2025年12月10日(水)西日本新聞
(株)カラーリングファーム 植原 憲一さん(りょうちく支部)
- 2025年11月17日(月) J-net21 Be a Great Small
スタイルクリエイト(株) 麻生 有花さん(福友愛支部)



10火

糸島支部2月例会

18:00~22:00

スポーツ福岡
福岡市西区横浜1-43
☎ 092-806-9740
糸島支部交流会

経営労働委員会

13-15金日

第31期経営指針作成セミナー

(2泊3日合宿)

おおむたハイツ
大牟田市甘木甘木山1203-116
☎ 0944-58-3497

景況分析部

16月

新RESAS勉強会

15:00~17:30

同友会全体会議室・ZOOM
(現地会場は定員に達しました。ZOOM参加のみ受付)
福岡市博多区吉塚本町9-15-11階
☎ 092-686-1234
経営環境分析実践講座
官民のビッグデータを、誰でも、無料で活用できる
地域経済分析システム

■ 島田 啓子 氏

九州経済産業局
地域経済部地域経済課
RESAS普及活用支援調査員

16月

西支部2月例会

18:30~20:40

アクア博多 A会議室
福岡市博多区中洲5-3-8
☎ 092-263-4770

経営課題のヒントを見つけに行こう!
”同友会の真価”

■ 栗原 篤史 氏

株式会社クリハラ 代表取締役
(福友和支部)

■ 富永 一也 氏

経営デザインコンサルティング
代表者(博多支部)

16月

青年支部2月例会

18:30~21:00

DRESS. EDDINGANDPARTY
福岡県福岡市中央区西中洲11-21
ボナ・バサージュ西中洲2F
☎ 092-725-7758

同友会を知る会
～共に学び、成長する～

■ 内野 裕太 氏

内野裕太社会保険労務士事務所
代表者(青年支部)

■ 梶原 誠 氏

有限会社グローバルプラン
専務取締役(青年支部)

17火

福友和支部2月例会

18:20~21:00

アクア博多 A会議室
福岡市博多区中洲5-3-8
☎ 092-263-4770
WEB会議システム「Zoom」
(ZoomミーティングID等は別途連絡)

「朝令暮改」は進化の証!
～常識を捨て、未曾有の危機を“高速”で駆け抜ける決断力～

■ 竹野 孔 氏

株式会社タケノ 代表取締役
(東支部)

17火

博多支部2月例会

18:30~20:50

天神ビル11号会議室
福岡市中央区天神2-12-1-11階
☎ 0120-323-920
(仮)生成 AI技術を用いた
業務支援を学ぶ!

■ 柿元 千徳 氏

パーシモンズ代表者
(りょうちく支部)

17火

玄海支部2月例会

18:30~20:50

天神クリスタルビル
福岡市中央区天神4-6-7
☎ 092-733-1310

経営者のための相続と事業承継
まだ先とは思っていませんか?

■ 納富 明 氏

司法書士納富明事務所
代表者(玄海支部)

■ 大塚 正常 氏

セブンガス株式会社 後継者
(玄海支部)

17火

田川支部2月例会

18:30-21:00

田川ライオンズ会館
田川市伊田3494-1
☎ 0947-44-4870

互いを認め合い組織が成長する
本気で向き合い、本音で語り合おう

■ 中山 英敬 氏

株式会社ヒューマンライフ
代表取締役(南支部)

18水

東支部2月例会

18:00~21:00

ホテルクリオコート博多
福岡市博多区博多駅中央街5番3号
☎ 092-472-1111

逆境を乗り越えて

■ 岩田 陽男 氏

岩田産業株式会社
代表取締役会長(東支部)

18水

のおがた支部2月例会

18:30-20:10

おんがみらいテラス
遠賀郡遠賀町遠賀川1丁目1?2
☎ 093-482-8123

同友会を知る会
～中小個人経営者たちの情報交換会～

■ 花田 大輔 氏

株式会社トモサポ 代表取締役
(のおがた支部)

■ 濱崎 晃洋 氏

ほけんの生きかた株式会社
代表取締役(のおがた支部)

■ 船川 大十 氏

株式会社 Always 代表取締役
(のおがた支部)

■ 八岩 正浩 氏

カーサポートエイト 代表者
(のおがた支部)

■ 大島 美樹 氏

株式会社福祉人 代表取締役
(のおがた支部)

19木

福博支部2月例会

18:00~20:30

天神チクモクビル大ホール
福岡市中央区天神3-10-27
☎ 092-715-3250

仲間と経営も不離一体
仲間の数だけ夢が増える

■ 西田 英司 氏

株式会社カルペ・ディエム
代表取締役(福博支部)

■ 新島 栄晃 氏

インサイトマジック株式会社
代表取締役社長(福博支部)

19木

ひびき支部・北九州支部合同2月例会

18:30~21:00

コムシティ大会議室
北九州市八幡西区黒崎3丁目15-3-3階
☎ 093-641-9360

あなたの会社、従業員を雇う準備は
できていますか?
～社員採用と共有～

■ 松木 祥也 氏

株式会社松木工務店
代表取締役社長(北九州支部)

19木

筑紫支部2月例会

18:20~20:50

筑紫野市生涯学習センター
筑紫野市二日市南1-9-3
☎ 092-918-3535

僕は経営者じゃなかった(仮)

■ 澤田 聖士 氏

スタートアップポップコーン
株式会社 代表取締役 CEO
(飯塚支部)

19木

福友愛支部2月例会

18:30-21:00

アクア博多 A会議室
福岡市博多区中洲5-3-8
☎ 092-263-4770

WEB会議システム「Zoom」
(ZoomミーティングID等は別途連絡)

理念で繋がる経営
ー危機を越え、人と組織に変化が生まれたー

■ 中島 克海 氏

株式会社グッド・サポート
代表取締役(福友和支部)

19木

飯塚支部2月例会

18:30-20:30

のがみプレジデントホテル
飯塚市新立岩12-37
☎ 0948-22-3840

同友会を知る会

■ 大久保 泰宏 氏

タカハ機工株式会社
後継者(飯塚支部)

■ 須亮 正彦 氏

株式会社液化ガス
代表取締役(飯塚支部)

企業連携推進委員会

20金

FAST2月例会

18:20~20:30

福岡同友会事務局全体会議室
福岡市博多区吉塚本町9-15
福岡県中小企業振興センタービル11F
☎ 092-686-1234

シンデレラ戦略実践セミナー

■ 深見 信吾 氏

深見経営株式会社
代表取締役(東支部)

■ 山田 耕平 氏

株式会社勇境
代表取締役(会外)

20金

中央支部2月例会

18:30~20:50

アクア博多
福岡市博多区中洲5丁目3-8
☎ 092-733-1310

WEB会議システム「Zoom」
(ZoomミーティングID等は別途連絡)

挑戦と改革で黒字を作り続ける
～チャレンジして後悔なし・上田五月男の軌跡～

■ 上田 五月男 氏

株式会社上田自動車
代表取締役社長
(長崎同友会島原支部)

24火

南支部2月例会

18:30~20:50

アクア博多 A会議室
福岡市博多区中洲5-3-8
☎ 092-263-4770

WEB会議システム「Zoom」
(ZoomミーティングID等は別途連絡)

経営者の熱量が組織を動かす
想いを行動へー指針書実践

■ 中原 亜希子 氏

株式会社プロデュース
代表取締役(ひびき支部)

フォローアップ部会

26木

新会員フォローアップセミナー

18:00~21:00

福岡県中小企業振興センター303
福岡市博多区吉塚本町9-15-3F
☎ 092-686-1234

共育委員会

26木

幹部社員研修(後編)

18:30~20:30

福岡県中小企業振興センター 202会議室
福岡市博多区吉塚本町9-15-2階
☎ 092-686-1234

全社一丸経営への道
社員と作るビジョンがつつなぐ明るい未来

■ 本田 幸一郎 氏

株式会社アルマデ
代表取締役(福友和支部)

■ 高城 潤平 氏

株式会社タカシロ商事
代表取締役社長(東支部)

27金

県南地区4支部合同例会

18:30~20:30

ランヴィエール勝島
柳川市南長柄町22
☎ 0944-73-9181

インタビューシップを知る会(仮)

■ 塩塚 マリ 氏

九州大谷短期大学
学生生活総合支援センター
キャリアサポート室 主任

■ 大坪 政樹 氏

有限会社大坪物産
代表取締役(りょうちく支部)



月刊
同友

2
月号

2026
vol.715

会員
トピックス



親子3代76年の写真館です

ドローンによる空撮事業を スタートしました！

文・写真：(株)Reクリエイション 西田 朋之(有明支部)

2025年、中小企業経営革新計画・賃上げ緊急支援補助事業計画に【ドローンを活用した法人企業および学校関係向け動画撮影の販路開拓】が承認され、ドローンによる空撮事業をスタートしました。

地上から、空へ。 伝統の眼がとらえる新しい視点

未来に残したい時間を映像に。家族の笑顔、企業の記録、地域の魅力。そのすべてを、写真館ならではの視点で丁寧に映像化しています。

また、2025年12月1日にホームページをリリースしました！ホームページ制作は、地方を元気にしよう！と咸宜塾で勉強している仲間、株式会社ファインドカラー・エックスの山口様（中央支部）にお願いしました！

人の思いをカタチに

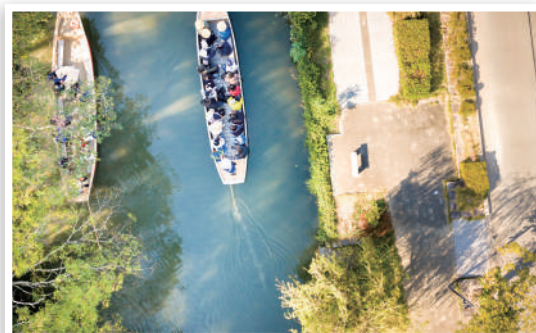
にしだ写真館は柳川市で親子3代お世話になり、2026年に創業76周年を迎えます。長年培ってきた「人の思いをカタチ」にする『写真表現技術』を生かし、新規事業でも地域社会に貢献して参ります。



(株)Reクリエイション
ホームページはこちら



株式会社竹下産業ムービー



川下りの空撮



小学校の空撮

2026年2月1日発行（毎月1回・1日発行）

福岡同友会 |

<https://www.fukuoka.doyu.jp/>

アンケートにご協力ください 回答締切 2月28日(土)

月刊同友では、皆様からのご意見・ご要望を募集しています。

よろしければQRコードからアンケートにお答えください。(所要時間 4分)



一般社団法人 福岡県中小企業家同友会

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号
福岡県中小企業振興センタービル11階
TEL:092-686-1234 FAX:092-686-1230

北九州地区センター

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野1-2-39
クルーズ浅野ビル808号
TEL:093-551-3111 FAX:093-551-3344

県南地区センター

〒830-0038 久留米市西町1367-1
祥栄ビル2階
TEL:0942-33-3355 FAX:0942-33-3366